

## 令和5年度第10回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和5年11月17日（金） 18時30分 ～ 19時30分
場所	藤山ふれあいセンター
テーマ	地域の活性化（①地域の人材と活動 ②高齢者が地域でイキイキ暮らす）
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 篠崎市長</li> <li>○ 鶉の島地区代表者（5名） 鶉の島地区コミュニティ推進協議会副会長、鶉の島地区自治会婦人部連絡協議会会長、鶉の島地区民生児童委員、鶉の島地区ふれあい運動推進員会事務局員 藤山中学校ヤング自治会会長</li> <li>○ 藤山地区代表者（5名） 藤山ふれあい運動推進員会前会長、藤山中学校育友会副会長、藤山地区地域コミュニティ団体事務局員、藤山地区人権教育推進委員、藤山中学校ヤング自治会副会長</li> <li>○ 鶉の島ふれあいセンター、藤山ふれあいセンター、地域支援員、市民環境部、総合政策部、広報広聴課</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活動に関わる人は、1人が複数の役員を長期間兼ねており、新陳代謝が必要だと思っている。藤山中学校では「ヤング自治会」という新しい取組が行われており、将来を担う若い人たちの地域活動の在り方の参考になるのではと大変期待している。（鶉の島地区コミュニティ推進協議会副会長）</li> <li>○ 「ヤング自治会」は令和4年に結成した。全校生徒が参加し、「住みやすさ日本一、帰ってきたいふるさと」を目指して13自治会で活動している。取組は2つあり、1つ目は総合学習の時間を活用して、「地域の公園の魅力向上プロジェクト」について考え、冬休みに各自治会の公園で地域の人たちが参加できるイベントを実施する予定である。2つ目は、自治会清掃やしめ縄づくり等の地域の伝統行事に参加している。（藤山中学校ヤング自治会副会長）</li> <li>○ ヤング自治会とは別に、ボランティアチームとして希望する生徒が参加する「地域元気応援隊」がある。令和3年に結成され、現在71人で活動している。次世代を担うジュニアリーダーとして、「地域とつながり、地域を元気にして、地域の一員として役割を果たす」ことが目的である。主な活動は、運動会や地域の祭り、高齢者や子ども会行事への参加、地域清掃活動である。今年度は、中学生が主となって運営する地域スポーツ大会を開催したが、子どもからお年寄りまで200人が参加してくれた。地域の方との交流が深まり、活動してよかったと思っている。（藤山中学校ヤング自治会会長） →若者の声を市政に活かしたい。中学校との相談にはなるが、ヤング自治会から市に提案をしてもらうことができないか。例えば2年生で検討したことを3年生の時に提案してもらってもよい。（市長）</li> <li>○ 生徒にヤング自治会や地域元気応援隊の活動に積極的に関わってもらうには、どうしたらよいか。（市長） →新入生には学校説明会などで、地域のイベントに参加する楽しさを伝えたい。（藤山中学校ヤング自治会会長） →授業時間内であれば多くの中学生が地域活動に参加しやすいと思う。（藤山中学校ヤング自治会副会長）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活動に関心をもち、参加してもらうにはどのように取り組んだらよいかが課題である。地域活動に参加した人にポイントを付与する仕組みを検討している。(市長) <ul style="list-style-type: none"> <li>→祖母が自治会役員をしていたので、幼少のころから地域活動に参加する機会が多く、「ありがとう」と言ってもらえると嬉しかった。地域活動に参加する周りの大人がかっこよく感じていた。3回参加したらポイントを付与するなどポイントラリー制にすれば、次の参加につながると思う。(藤山中学校ヤング自治会会長)</li> <li>→親がPTA役員をしていたので、地域の祭りによく行っていた。地域活動が身近で参加することは自然だった。子ども会での廃品回収で地域の人と色々な話をするのが楽しかった。(藤山中学校ヤング自治会副会長)</li> <li>→小学生や中学生の頃から地域活動に参加すれば、その後もずっと参加したいと思う人が増えるのではないかと思う。藤山地区は幼稚園から大学まである文教地区であり、地域の祭りやスマホ教室等の手伝いに関わってもらっている。(藤山地区地域コミュニティ団体事務局員)</li> </ul> </li> <li>○ 全国的にいじめや子どもの自殺が増えていると聞く。相談機関の充実、強化をお願いしたい。(藤山ふれあい運動推進委員会前会長) <ul style="list-style-type: none"> <li>→相談窓口の強化を行っている。また、経済的や社会的に困難を抱える子どもが増えているため、スクールソーシャルワーカーを増員し、子どもたちを適切な福祉施策につなげたい。(市長)</li> </ul> </li> <li>○ 鶴の島地区には、3世代交流イベントが多くあるため、地域みんなが顔見知りになり、関わりが深い。子どもたちの豊かな心を育てるには、幅広い世代の人と関わるのが大切である。子どもたちの変化に気づくことが、いじめなどの予防になるのではと思う。(鶴の島地区自治会婦人部連絡協議会会長・鶴の島地区コミュニティ推進協議会副会長)</li> <li>○ 民生委員として高齢者を対象としたサロンをしている。高齢者はもちろん、子どもが地域で楽しく過ごせるようにするのも、自分たちの使命だと思い活動している。(鶴の島地区民生児童委員)</li> <li>○ 部活動の地域移行について、地域のシニアに指導の援助をしてもらいたい。(藤山中学校育友会副会長) <ul style="list-style-type: none"> <li>→地域でスポーツや文化活動をしている人に指導員になっていただく体制作りが必要。指導員になるための研修会を開催したいと考えており、地域の力をお借りしたい。(市長)</li> </ul> </li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活動(3世代交流イベント等)に参加した人にポイントを付与する取組について検討する。</li> </ul>